

2007年度(08年3月期) 第1四半期決算概要

2007年7月31日
日本電気株式会社

<将来予想に関する注意>

本資料にはNECおよび連結子会社(以下NECと総称します。)の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や米国証券取引委員会等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー(safe-harbor)規則を定めている1995年米国民事証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)その他の適用法令に準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1)2006年3月期米国証券取引委員会(SEC)向け年次報告書(様式20-F)に記載すべき財務諸表の作成に必要な現在進行中の分析に関する不確定性、(2)NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(3)市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(4)激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(5)NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(6)NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(7)市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(8)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は隨時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。たとえば、米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づく証券の登録が行われ、NECおよび経営陣に関する詳細な情報ならびに財務諸表が掲載された英文目論見書をもって公募を行うことになります。

(注)

当社は、連結財務諸表作成に関する会計基準を、2006年9月中間期から「米国会計基準」から「日本会計基準」に変更しています。この変更に伴い、本資料においては、当四半期の連結業績との比較を可能とするため、2006年度第1四半期(2006年4月から6月まで。)の連結業績について、日本会計基準で作成し記載しています。

I . 決算概要

2007年度1Q決算総括

今年度事業運営方針

業績目標の確実な達成と成長施策実行強化

- ▶ 中期的成長に向けた半導体事業の再建
- ▶ モバイルターミナル事業の黒字化と、再成長に向けた商品力強化
- ▶ NGNを軸とした成長戦略の具体化

1Qの進捗

今期目標に向け、着実なスタート

営業利益 前年同期比34億円増加

- ・ 半導体事業は着実に改善
- ・ モバイル／パーソナルソリューション事業は黒字達成
- ・ IT／ネットワークソリューション事業はミックス変化で減益も、成長に向けた施策を実行



通期営業利益1300億円必達へ

1Q実績/上期予想サマリー

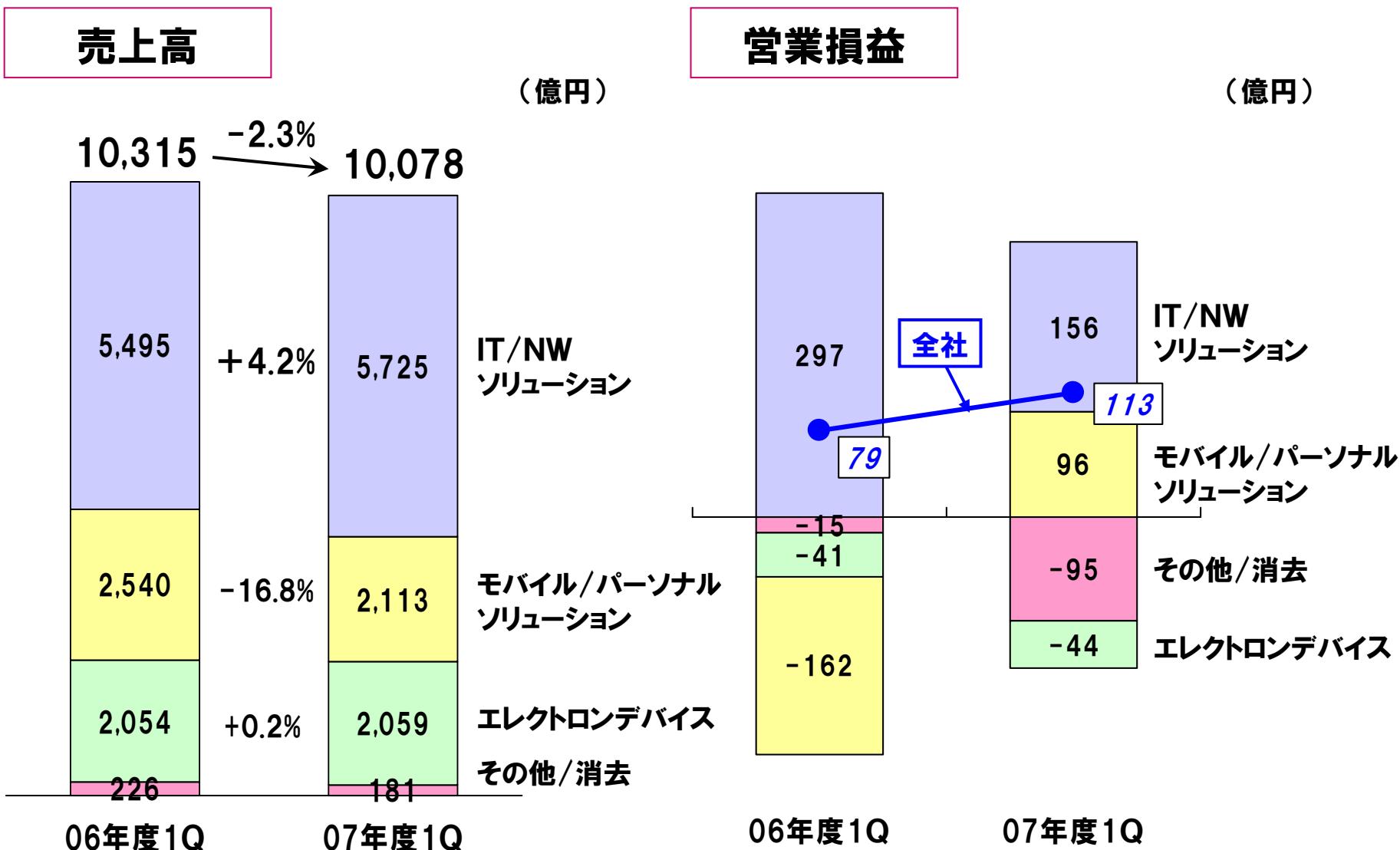
(単位:億円)

	1Q			上期		
	06年度 実績	07年度 実績	前年 同期比			
売 上 高	10,315	10,078	- 2.3%	22,216	21,500	- 3.2%
営業利益	79	113	+34	75	150	+75
売上高比	0.8%	1.1%		0.3%	0.7%	
経常利益	27	82	+55	-118	-100	+18
当期純損益	3	10	+7	-99	-220	▲121
売上高比	0.0%	0.1%		-	-	
1株当たり純損益(円)	0.12	0.41	+0.29	-4.94	-10.86	▲5.92

*予想値は2007年7月31日現在のもの

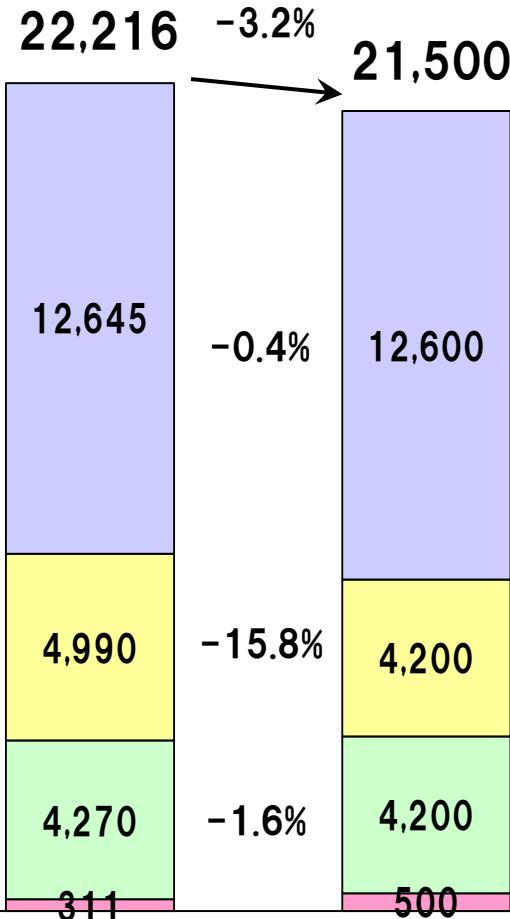
II.セグメント別事業の状況

07年度1Q セグメント別実績

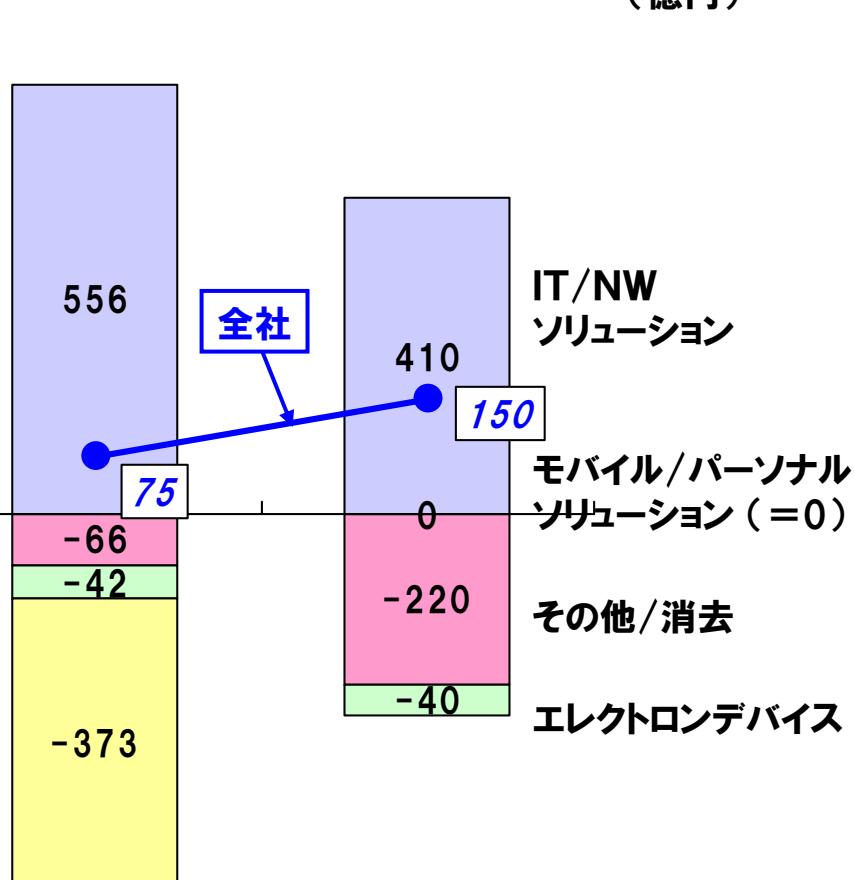


07年度上期 セグメント別予想

売上高



営業損益



06年度上期

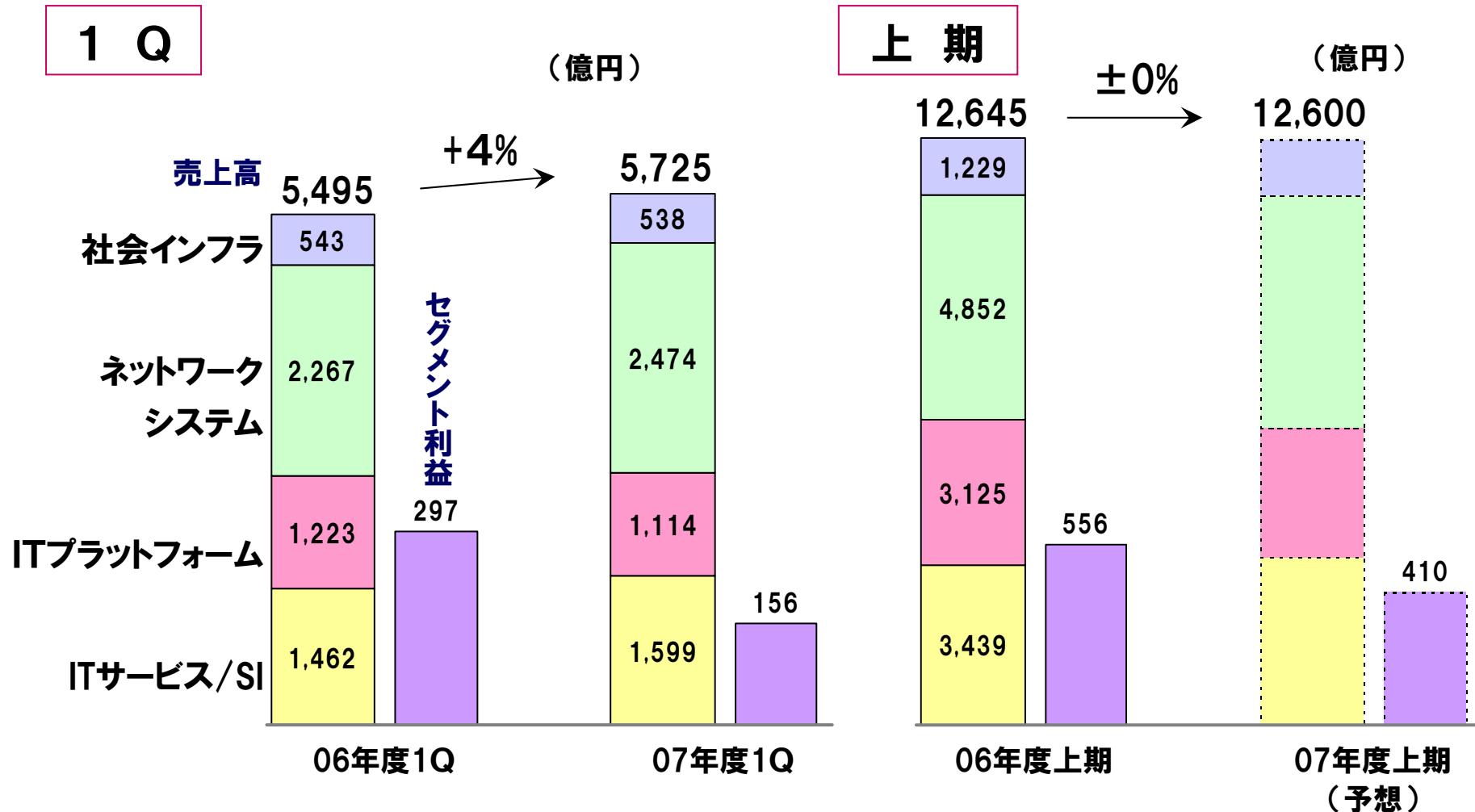
07年度上期
(予想)

06年度上期

07年度上期
(予想)

*予想値は2007年7月31日現在のもの

IT/ネットワークソリューション事業



*予想値は2007年7月31日現在のもの

IT/ネットワークソリューション事業

■ ITサービス/SI: 堅調に出荷拡大

◇市場環境

- ・景気拡大を受け、国内IT投資は概ね堅調

◇当社の状況

- ・金融、通信をはじめ、全般に売上が伸長
- ・外注費効率化、プロジェクト管理強化などコスト低減努力を継続

■ ITプラットフォーム: 厳しい環境の中、成長に向けた成果も

◇市場環境

- ・厳しい価格低下圧力が継続

◇当社の状況

- ・DVD販売機能の移管により売上減少
- ・シンクライアント大型システム受注など成長分野で成果

IT/ネットワークソリューション事業

■ ネットワークシステム

◇ 市場環境

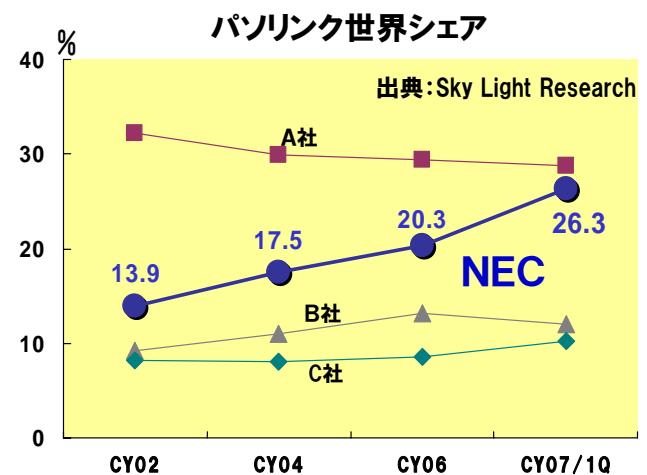
- ・前年1QのMNP対応投資集中期に比べ投資一巡
- ・NGNは商用化に向けた準備期間

◇ 当社の状況

- ・企業ネットワークを中心に売上増
- ・パソコンはトップシェアを目指し売上増
- ・MNP投資一巡の影響
- ・製品ミックス変化で前年同期比減益

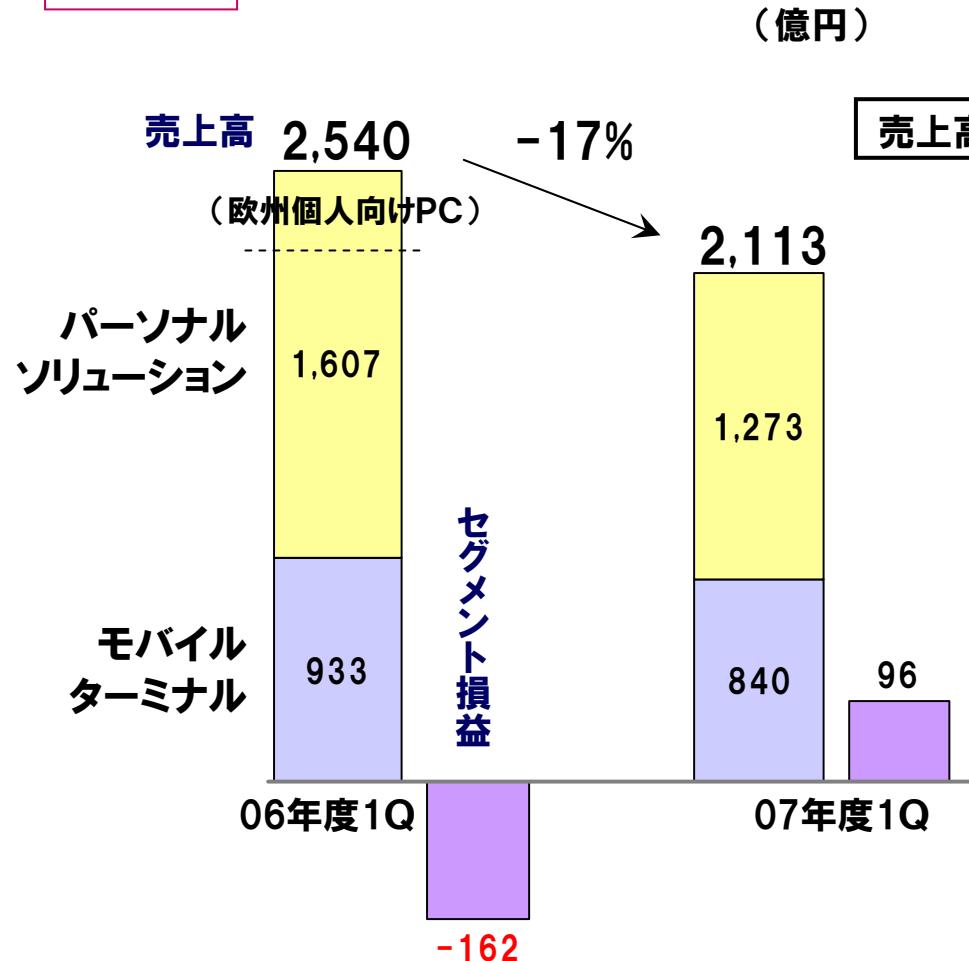
[1Qの成果]

- ・通信事業者向けNGN対応製品の強化
- ・NTT NGNトライアルへの積極的取り組み
- ・海洋AAGプロジェクト受注

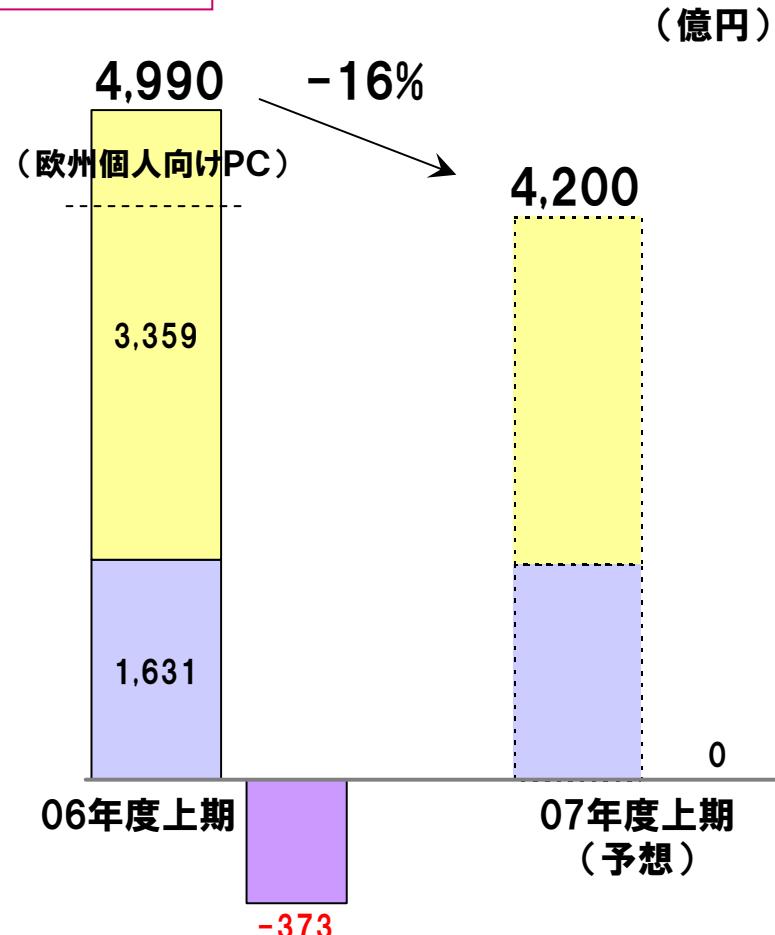


モバイル/パーソナルソリューション事業

1 Q



上期



*予想値は2007年7月31日現在のもの

モバイル／パーソナルソリューション事業

■ モバイルターミナル：上期ブレークイーブンに向け順調なスタート

◇市場環境

- ・競争激化の中で端末多様化が一層進展

◇当社の状況

- ・1Q 出荷台数 120万台(前年同期比 3割減少)

国内は商品企画力強化が成果に

→N703i μ、N904iのデザイン、性能など商品力が高い評価

シェア拡大に向け、継続的に商品力強化

- ・四半期ごとの変動あるものの1Qは黒字達成

■ パーソナルソリューション：欧洲個人向けPC売却等で出荷減

◇市場環境

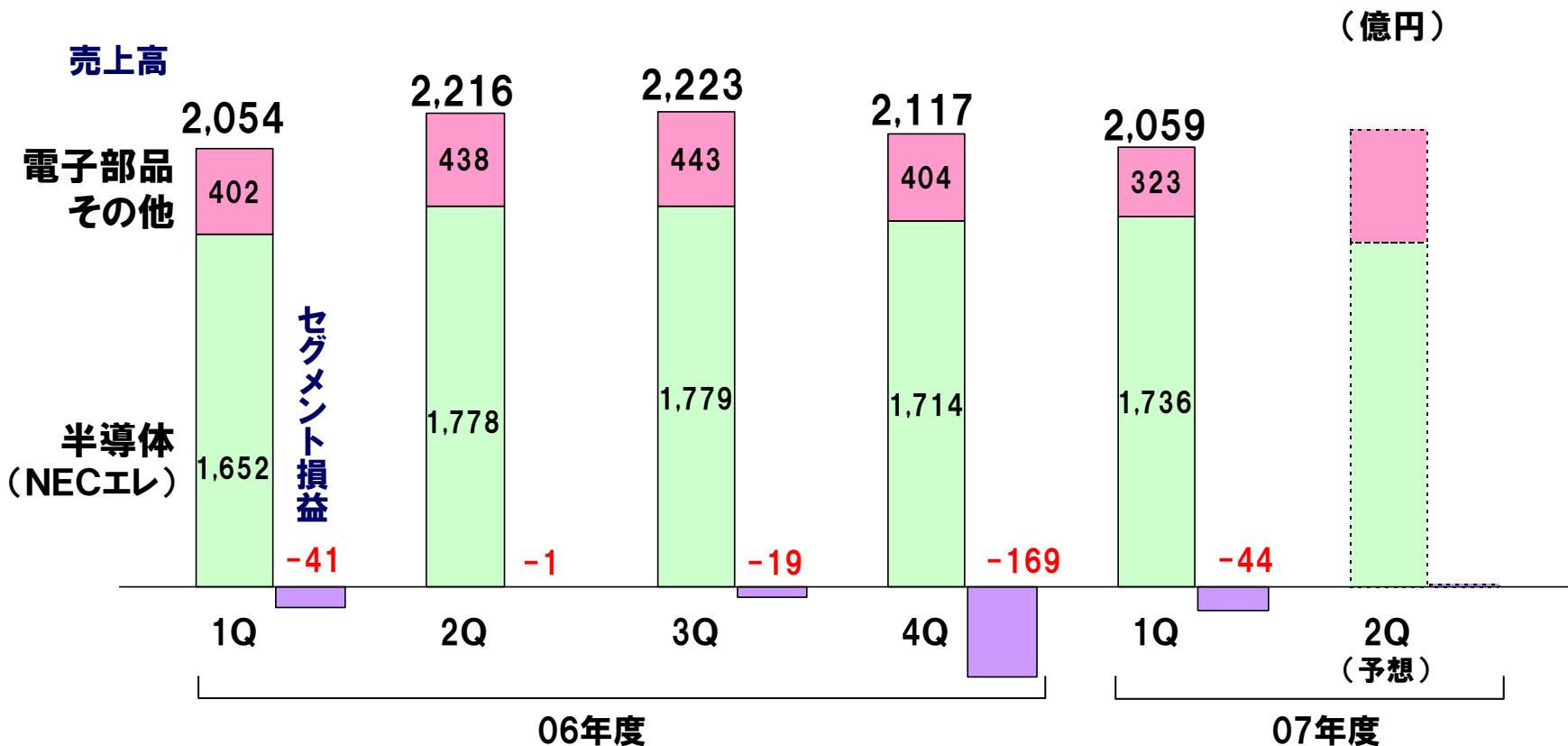
- ・VISTA機が徐々に立ち上がるも国内PC市場は前年並み

◇当社の状況

- ・PC：原価低減により着実に収益を確保

- ・BIGLOBE：成長に向けた取組みを強化

エレクトロニクス事業



(億円)	06年度				07年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
半導体営業損益	-58	-12	-38	-178	-22

※注 半導体分野の業績は、NECエレクトロニクス(株)が米国会計基準に準拠した財務諸表を公表しているため、NECエレクトロニクスの公表値(米国会計基準)で表記しています。日本会計基準への修正による差異は、電子部品その他分野に含まれています。

Empowered by Innovation

NEC